

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0177600384		
法人名	有限会社ふれあい		
事業所名	グループホーム樽川ふれあいほうす		
所在地	061-3205 石狩市樽川3条2丁目97番地		
自己評価作成日	平成23年3月8日	評価結果市町村受理日	平成23年5月16日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点を自由記載</li> <li>天気のよい日は外に出て、1日1回は御ひさまの光をあびる</li> <li>食事は、四季折々の食材を使って、利用者様の好みを聞いたりメニューを作る時にも参加している</li> <li>地域のイベントや行事、他のグループホームとの交流も積極的に取り組んでいます</li> </ul>
---

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成23年4月20日

--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケア理念に「住み慣れた地域で、その人らしく(ゆっくり)(一緒に)(楽しく)暮らせるよう本人の想いを大切にしていきます。」とかかげ日々取り組んでいる。定期的な会議の場において理念を振り返り日々のケアを確認しています		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の行事のゴミ拾いやお祭り、花植えなど、利用者さんと一緒に参加しホーム合同の夏祭りは地域の人々の参加、協力もあり毎年盛況です		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の研修会等に参加している。会議の中で報告し情報を共有しています。キャラバンメイトの活動を行い地域住民に認知症の理解・接し方の勉強会や相談を受けている		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月ごとに運営推進会議を開催し事務所の運営状況や利用者様の生活状況等についての報告、意見交換を行い地域との連携強化を図っている		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市で実施している会議に出席したり、介護相談員の訪問などでの相談・報告等で日常的に行政と連絡を取っており、ともにサービスの質向上に努めている		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	虐待防止の研修会に参加したスタッフより会議等で研修報告してもらいスタッフの共有確認を図り、それぞれのケアを振り返り身体拘束が行われていないか等点検しています		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修会に参加し全体、会議等で研修の勉強会を設けて日々のケアの中で虐待の可能性がないか啓発に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会等に参加して理解できるように努めている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にホームのケアに関する考え方や取組の説明を行い、重度化や看取りについての対応など説明し相談に応じています		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し地域包括支援センターの担当者と利用者様の会話の中から意見・不満・苦情など聞き取り、家族との信頼関係に努めスタッフ間で共有し反映できるようにしている		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度ユニット会議があり、スタッフからの意見など提案する機会がある。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一つ一つ確実に納得し、理解して働けるように声掛けしています、また、スタッフみんなで一緒に学びながら楽しく働ける様に研修会参加や資格取得に向けて取り組んでいます		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	開催する研修会に参加したりそれらを会議等で発表してもらい。報告書や資料は逸欄出来る様にしている、また、日々の現場で働きながら学ぶ機会も大切に、助言、アドバイスしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム連絡協議会等参加しネットワーク作りや研修会を通じ質の向上に努めている、お互いに祭り事や行事に招待し交流を図っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談を行い生活の状態の把握に努め、本人の不安等、気持ちを受け止める事に努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所に至るまでに面接等を通じて、入所に対する不安や状況を把握する事により、信頼関係を築きスタッフが本人に受け入れられる様に努める		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の状況と本人の状態を把握する事により、ニーズを明確にし、相談に来られた家族にはこれまでの苦勞や今までの利用状況や経緯について聞いています		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思い、苦しみ、不安、喜びなどを知ることにも努め、お互いに協働しながら、穏やかな生活が出来るように、声掛けし場面づくりを行っています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いを大事に、日々の暮らしの中での出来事、気付きなどを、家族の方にお便りとして伝え、一緒に思いを支えられるように伝えている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を得て、外出し食事や買い物、等、出掛けていく場面を積極的に作るようにしている		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフ間で、情報共有し心身の状態、気分感情日々変化する事もあるので注意して見守るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された場合にはお見舞いに行ったり、継続的な関わりが必要な家族とは連携をはかっています		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声掛け、把握に努めている、意思疎通困難な方には、家族から情報をえるようにしている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時の本人や家族などから聞き取るようにしました、日常会話の中で把握に努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人の生活リズムを把握すると共にその時の身体的、精神的変動を感じ取りながら現状把握に努めています		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	自分らしくある為に、本人や家族の要望を聞き日々の変化に即して、遂行状況、効果等を評価するとともに、期間終了前でも見直しを行っています		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の関わりの中から気づきやアイデアが生まれた時はケース記録に記録し、情報を共有しケアプランに反映させるように努めています		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者本人・家族の希望に応じて、通院時の送迎や買い物、外食への付き添い等柔軟に支援しています		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域包括センターの方や民生委員の方の協力頂き、また、近隣の学校との交流や消防の方には2回避難訓練時アドバイスを頂いています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には家族同行の受診となっているが不可能なときはスタッフが代行したり、定期的に往診して頂いています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所の看護師が週3回出勤し、健康管理や医療面での相談・対応を行っている また通院されている医療機関との連携も密にとれる様関係作りを行っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、家族とも情報交換しながら退院支援に向けて連携を図っている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に家族より、事前指定の同意書を頂いています。重度化や看取りの指針があり最大限尊重しながら本人、家族の希望に沿いながら安全に過ごす様最善を尽くしたいと思います		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	蘇生術・AEDの講習に参加し緊急時に対応できるようにし緊急対応のマニュアルを整理し周知徹底を図っている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の協力を得て避難訓練・避難経路の確認、消化器の使い方などの訓練を行い、近隣の方には避難訓練の案内をし参加して頂き、又、災害発生などにそなえて準備しています。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ会議や日々の引継ぎの中で、プライバシーを損ねるものになっていないか、日常的に確認し合っています		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話の中から食べたいものや飲みたい物を聞きメニューに取り入れ意志表示の困難な方は表情を読み自己決定できるように取り組んでいる。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の状態に配慮しながらドライブや買い物、散歩、行事への参加を柔軟に対応しています		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容を利用し、本人好みの髪型にしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニュー作りから、調理、片付けに至るまで食事の一連の流れを利用者様の意志や気持ちを大切に一緒に出来るような場面作りをしています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の一日分の栄養摂取量、水分量など把握し好みの献立を取り入れながら栄養のバランスに配慮しています		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は歯磨きうがいを促し、介助が必要な方には就寝時義歯洗浄を行っています		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っています		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常の活動の在り方を見直し、食事のバランス、水分、運動で服薬以外で可能な限り自然排便出来る様に努めるも出ないときには下剤を使用しています		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人一人の意向を大切に「つろいだ気分」で入浴できるように支援しています。個々の身体状態に応じて、足浴し薬塗布しています		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し生活のリズムを整え就寝に向けリズムが安定するように工夫しています		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に薬説明書をファイルに整理し、内容を把握した上でスタッフが薬セットしています服薬時は本人に手渡し確実に服用したか確認しています		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で一人一人が活躍できる場を提供し発揮してもらえる場面を作っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買物や散歩や行事など、出掛ける機会を多くし気分転換、ストレスの発散、五感刺激の機会として活用して車やバスを利用しています		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得てお金を持っている方もいます・受診時、買い物の時支払いが出来るよう支援します		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様が希望された場合、電話連絡をとったりお手紙を送ったりなどの支援をしています		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食器の洗う音、料理の匂い、心地よい音楽、鍋料理、桜餅、春には、近くの神社にヨモギ採りし草餅作りをしています。季節に合わせたディスプレイを壁などにしています		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室で、一人で過ごしたり、仲の良い利用者様同士でくつろげるスペースを作っています		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス、椅子以外にも仏壇など馴染みの物など生活スタイルに合わせています		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人にとって「何がわからないのか」「どうしたら自分の力でやっていけるのか」追及し工夫している		